

事業名：公共街路灯新設更新等事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	04 安全・安心			戦略				
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策				
開始年度	昭和42年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市内の公共街路灯
（令和3年度より指標を延長から基数に変更）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	公共街路灯基数	基	187.38	187.38	99	3,470
対象指標 2	更新が必要な基数	基	0	0	0	30

手段（事務事業の内容、やり方）

事業の進め方については、定期的に点検を実施し工事の優先性を検証することにより、効率的かつ効果的に工事を実施する。
社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	更新基数	基	86	63	25	30
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

公共街路灯の更新により、その機能の維持・向上と、夜間の道路環境の向上が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	更新が完了した街路灯の割合	%	3,382	3,488	100	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	52,304	55,316	39,600	35,000
正職員人件費 (B)		千円	6,102	3,075	3,096	1,520
総事業費 (A+B)		千円	58,406	58,391	42,696	36,520

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	道路照明設備点検事業（令和2年度）により判明した老朽化による倒壊危険度が高い公共街路灯の更新、撤去	工事費 35,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：空家等対策推進事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策					
開始年度	平成30年度	終了年度	令和5年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全域の空き家

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市内全域の空き家（推計）	棟	300	300	300	300
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、所有者等の管理意識の醸成と関係団体との連携による発生抑制及び利活用の推進を図るとともに、空き家等対策の情報発信や相談体制の整備を行うほか、「江別市特定空家等解体補助金交付要綱」に基づき、特定空家等の除却・解体支援を行う。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 空き家に関する相談・指導件数	件	159	83	86	86
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

危険空き家等への対応及び空き家等の利活用により、安全で安心な住環境を確保する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 管理不全な空き家の解消件数	件	14	35	8	8
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	203	872	1,785	1,784
正職員人件費 (B)	千円	16,017	9,224	14,708	19,005
総事業費 (A+B)	千円	16,220	10,096	16,493	20,789

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 <ul style="list-style-type: none"> 空家等対策協議会の開催 啓発パンフレットの作成等 特定空家等の認定 危険空き家等への応急対応 特定空家等の除却・解体支援 	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策協議会運営費：198千円 啓発パンフレット作成経費等：86千円 特定空家等解体補助金：1,500千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：河川等維持事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略				
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策				
開始年度	昭和57年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市が管理する河川、調整池及び集水路

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標 2	調整池数	ヶ所	27	27	27	27

手段（事務事業の内容、やり方）

発生した不良箇所を解消するための維持工事等を行う。

- 1) 法面補修・浚渫工事
- 2) 管理用道路補修工事
- 3) 調整池における防護柵補修工事など

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	河川・調整池の補修等工事件数	件数	3	10	3	7
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

本来発揮すべき機能を維持する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	河川・調整池の不良箇所数	件数	3	10	2	7
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	7,933	7,622	10,339	30,078
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	2,322	7,602
総事業費 (A+B)		千円	10,221	9,928	12,661	37,680

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）			
3年度	河川法面復旧にかかる現地調査、設計委託 準用河川、普通河川、集水路の床ざらい工事 河川の護岸工 調整池フェンスの更新	屯田川法面復旧調査設計委託等	1	11,946	千円
		床ざらい工事（明野川等5カ所）	1	2,188	千円
		護岸補修工事（大沢川）	2	000	千円
		調整池フェンス設置工事（上江別1号等）	4	18	千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：排水機場維持管理事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心	戦略						
取組の基本方針	02 地域防災力の向上	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

排水機場

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 排水機場数	箇所	18	18	18	18
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

定期的に点検・整備・巡回を実施し、施設を健全に維持し、大雨時の緊急運転に備える。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 維持管理経費	千円	67,855	61,751	67,831	67,778
活動指標 2 施設巡回・点検回数	回	9	9	9	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

水害を防止する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	67,855	61,751	67,831	67,778
正職員人件費 (B)	千円	4,576	4,612	6,193	6,082
総事業費 (A+B)	千円	72,431	66,363	74,024	73,860

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	排水機場の維持管理 ・月次点検、法定点検 ・修繕、整備 ・大雨時の緊急運転	管理委託等	53,399千円
		自家発電機電気工作物点検	1,067千円
		燃料費	1,339千円
		光熱水費	4,668千円
		施設等修繕費	1,500千円
		仮設ポンプ据付撤去費（中島、角山）	1,533千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別河川防災ステーション管理経費 土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略				
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別河川防災ステーション

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別河川防災ステーションの維持・管理を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	開設日数	日	306	307	307	308
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設が適切に管理運営され、災害時に防災拠点として利用される。また、平常時には利用者が多目的に利用できるとともに、河川への防災意識の向上が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	不具合件数	件数	0	4	0	1
成果指標 2	利用者数	人	78,971	86,641	80,000	80,000

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	20,365	21,830	22,419	22,922
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,844	4,645	4,561
総事業費 (A+B)		千円	24,179	25,674	27,064	27,483

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）			
3年度	館内保守点検業務 施設等修繕	館内管理業務	14	229千円	
		燃料費	1	700千円	
		光熱水費	3	618千円	
		施設等修繕費		658千円	

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：耐震化推進支援事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市耐震改修促進計画に基づく民間住宅の所有者及び、居住者又は居住予定者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	対象建築物数	戸	4,656	4,656	4,656	4,656
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

同計画に基づき耐震化を促進するために木造住宅等の無料簡易耐震診断を実施する他、「江別市木造住宅耐震改修等補助金交付に関する要綱」により専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修工事の費用の一部を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	60	920	0	2,289
活動指標 2	無料耐震診断を行った件数	件	9	1	1	10

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	補助利用率	%	2.62	40.19	0	100
成果指標 2	補助金を受けた件数	件	1	2	0	9

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	69	942	2,309	2,308
正職員人件費 (B)		千円	6,864	7,687	7,741	10,643
総事業費 (A+B)		千円	6,933	8,629	10,050	12,951

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・無料簡易耐震診断 ・専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修工事への補助 ・出前講座「住宅の耐震化セミナー」の実施、支援制度のPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断・補強設計・耐震改修への補助 2,289千円 ・新規耐震パンフレットの製作・印刷 19千円 	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：耐震改修促進計画策定経費

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略				
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策				
開始年度	令和 3年度	終了年度	令和 3年度	区分1	新規	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に現存し、旧耐震基準で建築され、耐震性が不足又は未確認である全ての建築物。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	対象建築物数	戸	0	0	0	7,531
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

建築物の耐震化に関する次期計画を策定する事で計画的に耐震化を推進し、建築物の倒壊等による市民の生命及び財産への被害を未然に防止する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	検討会議開催回数	回	0	0	0	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

耐震化に関する目標、各種施策等を定めた次期「江別市耐震改修促進計画」を策定し、耐震化を推進する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	計画策定数	件	0	0	0	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	4,209	4,189
正職員人件費 (B)		千円	0	0	7,741	7,602
総事業費 (A+B)		千円	0	0	11,950	11,791

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・令和2年度で終了する江別市耐震改修促進計画の次期計画策定にあたって、現計画を検証し、今後の耐震化の動向を推計するとともに、北海道の計画と整合を図るものとする。策定に必要な調査、推計、資料作成については、専門業者に委託する。	・耐震改修促進計画策定委託	4,180千円 ・道庁と協議・旅費 9千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	次期江別市耐震改修促進計画策定にあたって、現計画を検証し、今後の耐震化の動向を推計するとともに、北海道の計画と整合を図るものとする。策定に必要な調査、推計、資料作成については、専門業者に委託する。

事業名：新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅（新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	296	340	268	281
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部を新栄団地に建替・集約する。
 新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。
 R2～R3 E棟建設，R4～R5 F棟建設

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	建設戸数	戸	0	48	0	49
活動指標 2	除却戸数	戸	32	4	72	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化し、狭隘な住宅を建て替えることにより、入居者が安全に安心して暮らせるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	団地改善率	%	48.6	56.4	71.6	85.8
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	360,006	912,293	502,023	932,677
正職員人件費 (B)		千円	6,864	6,918	6,967	7,602
総事業費 (A+B)		千円	366,870	919,211	508,990	940,279

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	・新栄団地E棟建設工事（建築工事・各種工事） 【R2～R3継続事業】	新栄団地E棟建設工事 892,221千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：公園管理事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤		戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する都市公園

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市が管理する都市公園数	箇所	230	230	232	232
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- 公園の清掃や草刈等の維持管理及び管理運営を行う。
- 屋外体育施設の維持管理を指定管理者に委任する。
- 公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の改築を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 指定管理料（R2・R3予算は市管理経費を含む）	千円	154,259	155,279	172,943	183,026
活動指標 2 改築遊具・施設数	施設	6	7	7	15

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・管理運営を適切かつ効率的に行い、市民が快適で安全に憩える公園とする。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 自主事業件数（指定管理者）	件	16	17	5	5
成果指標 2 累計改築遊具・施設数	施設	12	19	26	41

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	286,564	270,298	374,144	401,769
正職員人件費 (B)	千円	22,500	24,214	24,384	23,946
総事業費 (A+B)	千円	309,064	294,512	398,528	425,715

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・公園草刈や清掃等の維持管理業務 ・指定管理者による屋外体育施設の管理運営 ・公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の改築及び修繕 ・アダプトプログラム ・樹木管理（剪定、伐採等）	・維持補修関係委託料 154,920千円 ・指定管理料 18,521千円 ・改築関係工事費 171,678千円 ・維持補修関係工事費 9,500千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民参加による公園づくり事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する都市公園

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市が管理する都市公園数	箇所	230	230	232	232
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・公園施設長寿命化計画に基づき、公園の再整備を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）
- ・整備内容については地域の子ども達や自治会の参加によるワークショップ会議等により計画する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 再整備公園数	箇所	1	1	1	1
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民協働のシンボルとして地域に親しまれる公園にする。
- ・公園再整備に併せて、公園施設のバリアフリー化を図ることで、誰もが利用しやすい公園にする。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 累計再整備公園数	箇所	15	16	17	18
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	55,109	40,209	44,920	49,422
正職員人件費 (B)	千円	6,102	6,150	6,193	6,082
総事業費 (A+B)	千円	61,211	46,359	51,113	55,504

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・ふくじゅそう公園再整備工事（豊幌美咲町） 面積：約 0.25ha 内容：遊具更新、バリアフリー化等 ・公園再整備に向けたワークショップ開催	・整備工事費 43,090千円 ・一般委託料 6,200千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：町名板再整備事業

開発指導課 開発指導係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民
・来訪者

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

1. 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付
2. 江別の顔づくり事業により新たに整備された交差点に信号機型町名板を整備

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 街区型町名板整備数	枚	201	345	70	87
活動指標 2 信号機型町名板整備数	ヶ所	0	1	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民及び市内在来訪者等に町名や地番をわかりやすい状態にする

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 所在確認の問い合わせ件数	件	3	0	2	2
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	1,662	1,646	1,179	1,217
正職員人件費 (B)	千円	3,814	3,844	3,871	5,321
総事業費 (A+B)	千円	5,476	5,490	5,050	6,538

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 1. 街区町名板 ~住民及び来訪者の利便性を図る ・市民要望による街区町名板の貼付 ・未貼付箇所等現況調査及び意向確認、貼付 2. 信号機型町名板 ~住民及び来訪者の利便性を図る ・信号機型町名板の整備	・街区型町名板整備費 448千円 ・信号機型町名板整備費 768千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	街区型町名板整備について、町名板の整備率は全市平均71%であることから、当面50%未満の地区を重点的に整備するよう更新計画を見直し、単年度貼付枚数の削減を行う。また、作業方法の見直しを行い、現地調査時に意向確認書を直接対象家屋に投函することにより、事業費(往復郵便代金)の削減を図る。

事業名： 団地集会所維持管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

団地集会所

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	施設数	箇所	5	5	5	5
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

団地集会所の維持・管理

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	利用可能日数	日	308	308	307	308
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

集会所利用者が安心して利用できる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	集会所使用件数	件	527	369	120	200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,888	2,820	2,914	2,928
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	3,651	3,589	3,688	3,688

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	団地集会所の維持管理	・ 集会所管理人報酬	1,800千円
		・ 集会所燃料費	99千円
		・ 集会所光熱水費	711千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市営住宅管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅入居者

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市営住宅入居戸数	戸	949	940	1,000	1,000
対象指標 2 市営住宅入居者数	人	1,873	1,802	2,000	2,000

手段（事務事業の内容、やり方）

市営住宅の家賃決定、入居者募集、選考及び決定、家賃及び敷金の徴収、徴収猶予及び減免、模様替え等の承認、明け渡し請求などの処分、入居相談、世帯人数と住戸規模のミスマッチ解消の実施。施設の維持保全及び一般修繕。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 維持修繕受付件数	件	556	525	550	550
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市営住宅が適切に管理され、入居者が快適に生活できる（政策空家を除く）。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 入居率	%	80.7	79	84	84
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	51,124	51,066	52,835	54,837
正職員人件費 (B)	千円	12,203	13,068	13,160	13,684
総事業費 (A+B)	千円	63,327	64,134	65,995	68,521

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・住宅の小規模修繕 ・住宅設備の保守点検 ・家賃の決定及び徴収・滞納整理	・住宅の修繕費 19,000千円 ・保守点検等の委託料 16,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 弥生団地大規模改善事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅（弥生団地）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市営住宅管理戸数	戸	223	223	223	223
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

市営住宅長寿命化計画に基づき、弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 外部改修戸数	戸	24	24	24	24
活動指標 2 設備改修戸数	戸	24	24	0	48

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 団地改善率（改修戸数／延べ改修戸数）	%	44.5	54.1	58.9	73.3
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	111,260	111,602	102,168	183,282
正職員人件費 (B)	千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)	千円	112,023	112,371	102,942	184,042

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・弥生団地G棟外部改修工事（屋根改修、外壁改修、窓改修等） ・弥生団地E・F棟給水設備改修工事	・弥生団地G棟外部改修工事 138,182千円 ・弥生団地E・F棟給水設備改修工事 45,100千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：道路景観づくり推進事業

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市内の道路
・違反広告物

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市内の国道・道道・市道実延長	km	860	862	864	864
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。
・広告主への除却指導（年数回）
・違反広告物の除却（年数回）
・石狩振興局へ除却数を報告（年2回）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 広告主への指導件数	件	2	1	2	2
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路の美観風致の維持、整然とした街並みとなるために違反広告物を放置しづらくなる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 違反広告物の除却数	枚	237	565	84	100
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	968	683	507	507
正職員人件費 (B)	千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)	千円	2,493	2,220	2,055	2,027

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・広告主への除却指導 ・違反広告物の除却 ・石狩振興局へ除却枚数を報告	・軍手等の消耗品費 3千円 ・除却活動員の保険 5千円 ・広告調査、除却委託経費 499千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：大麻市営駐車場管理経費

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略			
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策			
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

大麻市営駐車場

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	9,997	10,140	10,434	10,434
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

低廉な料金で駐車できる駐車場を確保することにより、駅周辺の路上駐車車の削減を図る。
（令和3年度より成果指標2を変更）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 年間延べ利用台数	台	46,613	45,538	26,000	26,000
成果指標 2 不具合件数（苦情・要望件数）	件	10	7	10	9

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	9,997	10,438	11,781	10,434
正職員人件費 (B)	千円	2,288	2,306	2,322	2,281
総事業費 (A+B)	千円	12,285	12,744	14,103	12,715

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 市営駐車場の運営管理を指定管理者に委託する。	・ 指定管理料 10,434千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：除排雪事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤	戦略						
取組の基本方針	02 交通環境の充実	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公共除排雪対象の市道及び公共施設等

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	835	835	837	837
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

ほぼ連続した降雪により、降り始めからの降雪量が10cmを超えた場合等で、除雪作業を要すると認められる状況であるほか、断続的な降雪や吹き溜まり等で、交通障害が予想される場合に除雪作業を実施する。
また、道路幅員の狭窄、路肩の雪堤状況等諸条件から総合的に判断し、運搬排雪作業を行う。
自治会が主体で実施する排雪作業に対し、ロータリ除雪車（車両のみ）とダンプトラック（車両と運転手）を貸与し、排雪作業支援を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	除雪延長	km	732	734	735	735
活動指標 2	自治会排雪延長	km	348	301	349	349

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

冬期間の円滑な道路交通網を確保する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	0	0	0	0
成果指標 2	実施自治会数	自治会	102	83	104	104

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,028,878	925,232	1,280,781	1,334,817
正職員人件費 (B)		千円	22,500	24,214	28,642	27,747
総事業費 (A+B)		千円	1,051,378	949,446	1,309,423	1,362,564

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> 除排雪業務 自治会排雪実施に係る作業車両の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 除排雪業務 1,000,000千円 自治会排雪作業車両の支援 230,500千円 	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：私道除雪補助金

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般通行の用に供する私道

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	私道除雪申請延長	km	1.54	1.54	1.54	1.52
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

自治会が行う私道除雪について、市が算定する補助基準額の2分の1以内の額を自治会に補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	976	1,032	1,315	1,315
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

私道における冬期間の交通確保を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	私道除雪延長	km	1.54	1.54	1.52	1.52
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	976	1,032	1,315	1,315
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	1,357	1,416	1,702	1,695

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・私道除雪補助金 10自治会 L=1.52km	・私道除雪補助金 1,315千円	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：不法投棄対策事業（市道）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市道総延長	km	835	837	837	837
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

市道に不法投棄された投棄物について、巡回を行い処理する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 巡回回数	回	12	12	12	12
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

不法投棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、更なる不法投棄発生を抑制する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 不法投棄物延べ処理件数	件	213	293	300	300
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	3,502	4,400	4,400	4,400
正職員人件費 (B)	千円	763	769	387	380
総事業費 (A+B)	千円	4,265	5,169	4,787	4,780

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	不法投棄の巡回、回収、運搬、処理の委託業務	委託費 4,400千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：道路橋梁管理経費（臨時）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市道総延長	km	835	837	837	837
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

老朽化による施設の更新及び修繕工事

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 実施延長	km	2.6	2.3	3.2	3.5
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 不具合件数（市民からの苦情・要望件数）	件	916	724	700	700
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	404,476	403,279	363,559	486,304
正職員人件費 (B)	千円	13,729	13,837	13,934	15,204
総事業費 (A+B)	千円	418,205	417,116	377,493	501,508

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	工事路線現況測量 路面凍上改修工事等	委託費	11,756千円
		使用料	1,041千円
		工事費	470,000千円
		投資関係備品購入費	1,007千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：道路橋梁管理経費（経常）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市道総延長	km	835	837	837	837
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

道路の損傷箇所の修繕・復旧対応

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 市道管理延長	km	835	837	837	837
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 不具合件数（市民からの苦情・要望件数）	件	916	724	700	700
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	146,794	146,274	150,000	153,000
正職員人件費 (B)	千円	9,534	9,609	8,515	8,362
総事業費 (A+B)	千円	156,328	155,883	158,515	161,362

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	路面清掃委託 道路草刈委託 道路維持作業委託 舗装補修工事 原材料費	維持補修関係委託料	60,000千円
		維持補修関係工事費	76,000千円
		一般原材料費	17,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ロードヒーティング管理経費

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

路面融雪施設

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算	
対象指標 1	ロードヒーティング延長	m	1,169.2	1,416.6	1,416.6	1,388.2
対象指標 2	ロードヒーティング面積	m ²	6,606.5	7,812.8	7,812.8	7,651.7

手段（事務事業の内容、やり方）

冬季間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかどうかの確認。
更新計画を策定し老朽化している施設の更新を図り、効率的な運用を目指す。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	巡回・点検回数	回	16	16	16
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

ロードヒーティングを適切に管理し、円滑な移動を可能にし、市民の安全性や利便性及び快適性を高める。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
成果指標 1	不具合件数（点検結果）	件	4	6	0	0
成果指標 2						

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	34,129	38,668	40,647	40,129
正職員人件費 (B)	千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)	千円	34,892	39,437	41,421	40,889

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 光熱水費 施設等修繕費 委託費他	光熱水費 38,314千円 施設等修繕費 1,000千円 委託費他 815千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：橋梁長寿命化事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市内の橋梁

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	橋梁（市道）	橋	147	147	147	147
対象指標 2	修繕が必要な橋梁数	橋	38	38	38	38

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・江別市橋梁長寿命化修繕計画（平成25年2月19日策定）に基づき修繕工事を実施する。
- ・事業の進め方については、5年を目途に定期点検を実施し、工事の優先性を検証することにより、効率的かつ効果的に計画を進める。
- ・道路メンテナンス事業補助制度を活用し実施する。（補助率6／10）
（令和3年度より活動指標2を追加）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	当該年度修繕対象橋梁数（完了）	橋	5	1	2	6
活動指標 2	橋梁点検数	橋	0	0	0	26

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

計画的な予防修繕による橋梁の延命化（長寿命化）を図ることで、修繕費用等を縮減する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	修繕工事が完了した橋梁の割合	%	34.2	36.8	42.1	57.9
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	101,067	123,715	152,794	187,000
正職員人件費 (B)		千円	6,864	7,687	7,741	9,122
総事業費 (A+B)		千円	107,931	131,402	160,535	196,122

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）			
3年度	橋梁定期点検 橋梁修繕工事実施設計 橋梁修繕工事	定期点検委託	40,000千円	修繕工事実施設計	23,500千円
		修繕工事	72,000千円	点検負担金	40,000千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：道路施設再整備事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

道路施設（アンダーパス、擁壁、法面、標識）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	道路施設数	箇所	212	212	212	212
対象指標 2	対象道路延長	km	247	247	247	247

手段（事務事業の内容、やり方）

定期的に路面性状調査を行い、その結果をもとに舗装の適切な補修を実施する。
社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助金 6 / 10）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	道路施設点検件数	箇所	0	0	2	0
活動指標 2	道路路面調査延長	km	0	0	247	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

今後老朽化する道路施設全般について、点検を行い落下、倒壊等の恐れのあるものは改修、修繕を図り第三者への被害を防止する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	改修、修繕箇所数	箇所	1	0	0	5
成果指標 2	改修、修繕延長	km	3	2.5	0.8	0.9

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	155,064	83,354	241,980	212,000
正職員人件費 (B)		千円	7,627	4,612	7,741	6,082
総事業費 (A+B)		千円	162,691	87,966	249,721	218,082

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	大型構造物修繕工事実施設計 舗装修繕工事 施設修繕工事	委託費	7,000千円 工事費 205,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：道路橋梁再整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する道路のうち再整備が必要な幹線道路等

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	km	0.36	1.05	1.67	1.06
対象指標 2	事業路線数	路線	1	1	3	3

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・経年劣化などにより損傷した路線について、道路改良や舗装新設などの必要な再整備を実施する。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	当該年度の工事延長	km	0.05	0.61	0.87	0.54
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	1	1	3	3

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・損傷した路線の再整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な道路環境を確保する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0.36	0.61	1.48	0.8
成果指標 2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	1	0	2	2

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	12,188	60,225	188,442	94,150
正職員人件費 (B)		千円	3,051	6,918	8,515	8,362
総事業費 (A+B)		千円	15,239	67,143	196,957	102,512

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・元江別178号道路外改修工事（元江別178号道路、元江別1号幹線） ・東野幌本町23号道路改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・元江別178号道路外改修工事 62,000千円 ・東野幌本町23号道路改修工事 31,500千円 	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：道路橋梁新設改築事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する道路のうち整備が必要な幹線道路等

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	km	0.84	0.47	2.84	2.84
対象指標 2	事業路線数	路線	2	1	4	4

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・幹線道路等について、新設のほか拡幅や歩道造成などの必要な整備を行う。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10、新設は5/10）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	当該年度の工事延長	km	0.16	0	0	0.93
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	2	1	4	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・幹線道路等の必要な整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な道路環境を確保する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0.37	0	0	0.73
成果指標 2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	1	0	0	0

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	75,219	32,469	262,570	473,342
正職員人件費 (B)		千円	6,102	6,150	12,386	12,163
総事業費 (A+B)		千円	81,321	38,619	274,956	485,505

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・元江別66号道路整備工事 ・兵村4丁目通り整備工事 ・元江別中央通り整備工事 ・元江別66号道路 用地取得・物件補償 ・大麻駅跨線人道橋 用地取得・物件補償 	<ul style="list-style-type: none"> ・元江別66号道路整備工事 85,000千円 ・兵村4丁目通り整備工事 62,000千円 ・元江別中央通り整備工事 50,000千円 ・元江別66号道路 用地取得・物件補償 111,700千円 ・大麻駅跨線人道橋 用地取得・物件補償 55,000千円 	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	